

## ビジネスモデル概要

### 1. ビジネスモデルの全体像

このビジネスは、WEB アプリと連動するフィギュアやカードをカプセルトイ形式で販売し、設置先の店舗や施設と売上を折半するモデルです。

- 具体的な流れ
  1. 私が開発した WEB アプリと連動するフィギュアやカードをカプセルトイとして生産。
  2. カプセルトイを販売するための筐体を調達し、集客や話題作りに苦戦している地域の店舗（神社・お寺、観光地、商店街など）に設置。
  3. カプセルトイを購入したユーザーは、商品に記載された QR コードをスキャンし、WEB アプリで占いやストーリー、特別な体験を楽しむ。
  4. 店舗は話題性や集客力を得られ、売上は店舗と私で 50%ずつ折半。
- 目的  
地域密着型の店舗や施設が、初期コストゼロで話題性と集客力を獲得できる仕組みを提供。私自身は販路を確保しつつ、地域活性化に貢献することを目指します。

### 2. 最終目標

「拡張路線」を追求せず、堅実で持続可能なビジネスを構築します。

背景には、社会的な雇用不安があり、このビジネスで収益基盤を築くことで、影響を受ける周囲の人々が安心して新たな道を見つけられる環境が作り出せれば嬉しいです。

### 3. ターゲット市場を選んだ理由

- ガチャ業界は高い成長性と話題性を持つ市場であり、私のスキルを最大限発揮することで、十分に参入可能と考えています。
- 特に、神社・お寺、観光地、商店街といった地域密着型の施設での需要を見込んでいます。

#### 4. QRコード連動の体験内容

##### 1. 「しゅごモンお守りカード」

カードのQRコードをスキャンすると、専用WEBアプリにアクセス。

- カードのキャラクターがコンパニオンとして登場し、占いやゲーム、ストーリー、福運日記などを提供。
- 福運日記では5項目の簡単な質問に答えることで、日々の「運の良い人」を目指す生活をサポート。

##### 2. 「叶うに導く魔法のカード」

- QRコードを読み込むと、生年月日や願いを入力し、性格診断や願望達成のアプローチ法をレポート形式で提供。
- レポートは原稿用紙30枚分のボリュームで個別に作成されるため、特別感がある。

#### 5. 競争優位性

- QRコード連動型カプセルトイという新しい体験を提供。
- 中小規模の事業者が追随しにくいWEBシステムとの連動性。
- システム開発スキルとフィギュア制作スキルの融合による独自性。

#### 6. 懸念事項とリスク

##### 1. 営業の難しさ

店舗や施設にとって、ガチャやシステムが未知数の分野であるため、受け入れてもらえるかが課題。

→ わかりやすい説明資料や試験導入を提案。

→ 商品見本を実際にお試しいただき、誠実な説明と体験型営業をMIX

##### 2. 模倣リスク

同様のスキルセットを持つ人が追随する可能性がある。

→ 継続的に新しいコンテンツや連動要素を提供し、先行優位性を維持。

→ 利益追求に走らず、誠実・円満なビジネスを重ねることによりブランドを形成。

(「あそこはチョット変わってるけど、誠実で気がいい会社だよね」への継続努力)